

利用者証明におけるユース ケース・課題



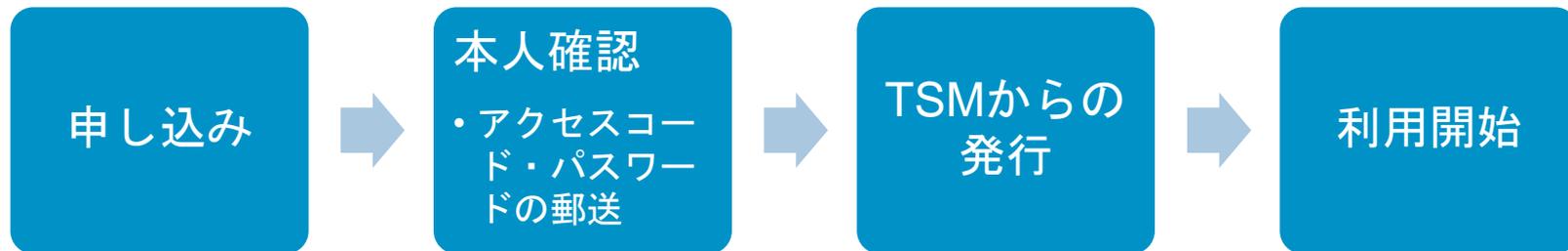
セキュリティ認定について

✖ ライフサイクルの違い

- ✖ SIMカードは常に新しいテクノロジーが必要となり、Time-To-Marketが要求される
- ✖ 利用者証明機能を使う際に、既存の評価スキームのうまく活用し、SIMカードのライフサイクルに影響しないことが重要
 - ✖ EMVCo Security Evaluation: チップ & プラットフォーム(OS)
 - ✖ GlobalPlatform UICC Configuration

 利用者証明用電子証明書としての必要な認定レベルの定義

ユースケース例: 既存モバイルNFCサービスにおける活用



現状はオフラインでのプロセス(郵送)が必要で、
数日間のリードタイムが発生



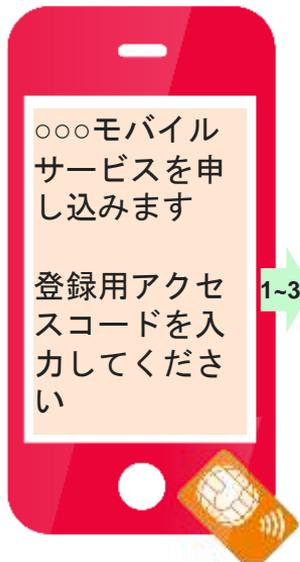
利用者証明によるオンラインでの本人確認により
リードタイムを削減

3rdパーティサービスの本人確認としての利用フロー

既存のモバイルNFCのような3rdパーティのモバイルサービスを導入する際に、スマートフォンの利用者証明書を本人確認として使用

利用例

- 民間の決済サービス(クレジット...)
- 民間の認証サービス(eバンキング...)
- ...



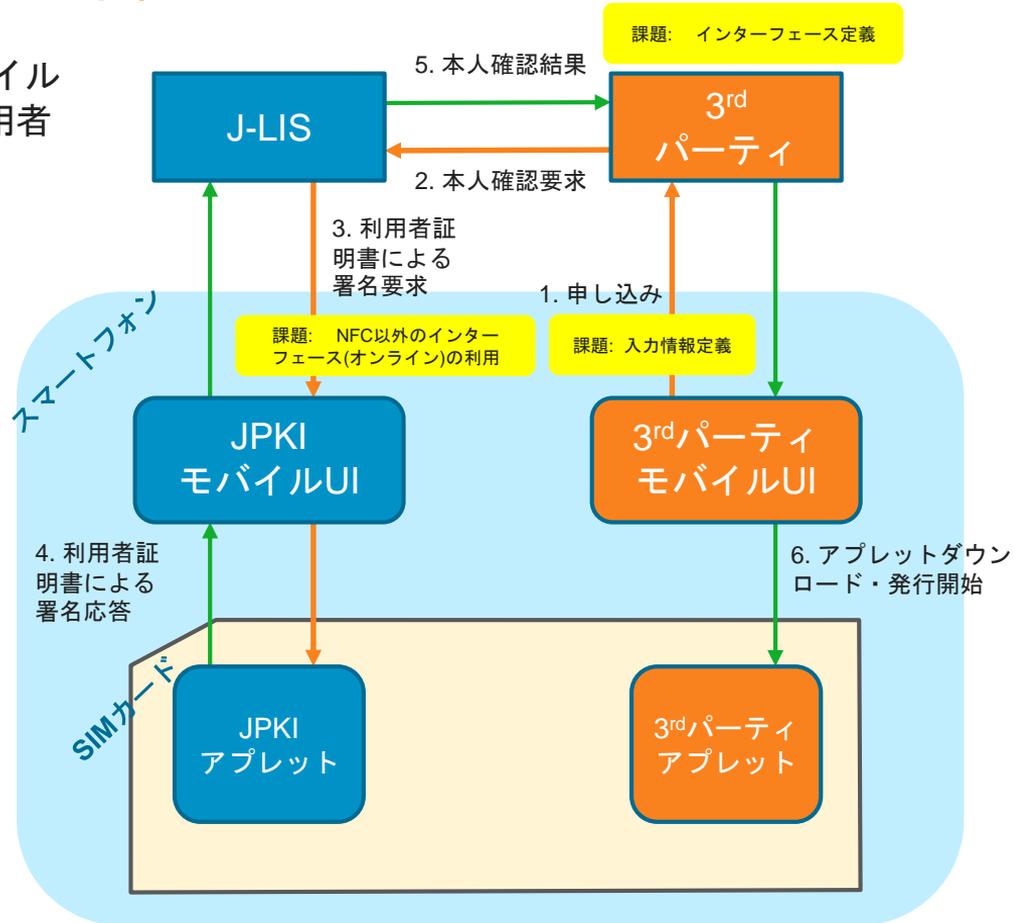
1~3

利用者証明書による本人確認をしてください

4桁の暗証番号を入力してください:XXXX

4~6

本人確認ができました。
○○○モバイルサービスのダウンロードを開始します



クロスボーダー-Mobile Connect

- ✧ eIDAS規制に向けて、GSMAがクロスボーダー-Mobile Connectの第一弾の実証実験の実施予定を発表(2015/12/3)
- ✧ フィンランドのMNOや政府が参加
 - ✧ Orange Spain, Telefonica, TeliaSonera, Vodafone Spain, Gemalto, Mobile World Capital, the Catalonia Regional Government, the Finnish Ministry of Finance and Finnish Population Registration Centre



Mobile Connect makes headway with launch of cross-border pilot

December 3, 2015 | Blog

<http://www.gsma.com/personaldata/mobile-connect-makes-headway-with-launch-of-cross-border-pilot>